

持続可能な開発目標とは？

(SDGs エスディージーズ)

Sustainable Development Goals

Sustainable

「持続可能」って？

「将来に向けて〇〇し続けることができる」ということ

Development

「開発」って？

「よりよい未来をつくる」こと

SDGsは2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための目標です。2015年9月に国連本部で193の加盟国によって全会一致で採択されました。

「誰一人取り残さない – No one will be left behind」

を理念として、持続可能な社会を実現するために、2030年までに全世界をが取り組む

17の目標(ゴール)と169のターゲットが書かれています。



SDGsはゴール同士が互いに関連

17の目標は相互につながりあっています。1つの課題に取り組むことで、多くの課題の解決につながっていきます。

「経済」、「社会」、「環境」の視点から考える

それぞれの課題に取り組む際、その課題のみの解決を目指すのではなくいくつかの視点から広く考えることが大切です。

SDGsは「経済」「社会」「環境」の3つの視点をあげています。

株式会社産業心理研究所は
SDGs達成への貢献を目指します



株式会社産業心理研究所

☎ 090-1570-1164

✉ ssk-1pn@arrow.ocn.ne.jp

🏠 sangyou-shinri-kenkyujo.com



本社

〒761-0303
香川県高松市六条町204-7 塚元ビル1(2F)
☎087-873-2588 / FAX 087-840-7372

熊本
Office

〒862-0941
熊本県熊本市中央区出水5丁目7-80
☎096-372-8510 / FAX 096-372-8510

2030年

私たちがつくる 持続可能な世界

SDGs

Sustainable Development Goals



株式会社産業心理研究所

2022年4月

2030年 — 社会の主演となっている私たちのミッション サステナブル社会に向けて準備は大丈夫ですか？

今や「SDGs」という文字を見ない日はないくらい、世界中で取り組まれているSDGs。2030年までに「地球上の誰一人取り残さない」という誓いのもと、持続可能でより良い世界を目指すことを国際目標としています。

そしてその目標実現のけん引役として、持続可能な社会構築に貢献できる企業が求められています。それは言葉を返せば、利益至上主義の企業は淘汰されていくこと。かつてCSR活動を、投資のリターンと直結していないと考えた投資家ですら、「SDGsにどう取り組んでいるか」によって、投資判断をするようになっていきます。

Society5.0・DXへの対応など、変化の激しいVUCA時代において、SDGsをビジネスに取り込める力は、企業にとって必須とされる能力開発でもあります。御社は「サステナブルなビジネス」で「イノベーション」が起こせますか？SDGsはもはやCSRや慈善活動の領域ではないのです。

SDGs浸透のためにまずすべきことは、SDGsを念頭においた企業活動を実施するための「基本知識」の付与です。これは一部の社員に実施するだけでは効果がなく、全社員に等しく備わべきナレッジです。SDGs推進教育は、もはや全社員教育として必要な投資であることを認識すべきでしょう。

また、情報だけを提供してもSDGsは浸透しません。SDGsを組織内に浸透させるには「自分ごと」として、常に自律的に考えるように教育すると共に、意見を「みんなで共有」することが大切です。次世代に必要な企業・ビジネスパーソンを育成するための「意識改革」ができて、初めてSDGsが社内に浸透したと言えるのです。

弊社では、EAP事業に加え、新たにSDGs経営支援プログラムをご提供することで皆様方企業の繁栄に寄与できることを心より願っています。

株式会社産業心理研究所 代表取締役 塚元 千恵美

<取得資格>

- ・MBA（経営学修士）（2008年、香川大学大学院 地域マネジメント研究科）
- ・シニア産業カウンセラー（2002年、日本産業カウンセラー協会）
- ・国家資格2級キャリアコンサルティング技能士（2013年、キャリアコンサルティング協議会）
- ・国家資格 キャリアコンサルタント（2016年、キャリアコンサルティング協議会）
- ・T A心理カウンセラー（2015年、日本交流分析協会）
- ・交流分析士インストラクター（2004年、日本交流分析協会）
- ・認定BCBファシリテーター（2004年、チーム医療）
- ・健康生きがいづくりアドバイザー（2006年、健康生きがい開発財団）
- ・T A子育て支援士（2020年、日本交流分析協会）

EAPにSDGs経営の視点を取り入れた新たな SDGs 経営支援プログラム

SDGs経営
基礎講座



SDGs
経営



EAP
サポート

企業のSDGs導入に向けて、「SDGs経営支援プログラム」と題し、企業がSDGs達成に向けた企業憲章や、アクションプランを作成するためのサポートをします！

SDGs経営
基礎講座

SDGs経営
×
EAPサポート

Step1 ヒアリング

- ・現在の事業とSDGs目標との紐づけ
- ・本業の周辺領域からスモールスタート

Step2 事業計画を作成

- ・ビジネスチャンスの洗い出し（リスクと機会の両方からSDGsを考える）
- ・事業計画の中でステップアップ

Step3 アクションプランを作成

- ・SDGsの達成（社会的課題解決）に対しビジネス的な解決策を提示する
- ・事業計画の中でスケールアップ

POINT プログラムに取り組むメリット

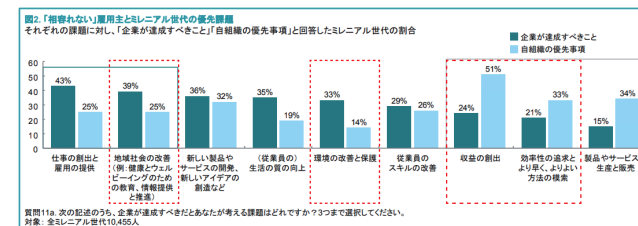
- ・次世代の経営モデル「パーパス経営」への転換
- ・企業ブランディングの向上（社会的地位の確立）
- ・経営リスクへの対応
- ・新商品・新サービスの開発
- ・従業員の人材育成・モチベーションアップ
- ・優秀な新入社員（人材）確保

「SDGsネイティブ」としてのミレニアル世代

今後、消費者・従業員として、投資家として、そして起業家として、企業をとり巻くステークホルダーの中心となっていくのがいわゆる「ミレニアル世代」である。ミレニアル世代の価値観を捉えることで、SDGs経営の意義がより浮かび上がってくる。

2030年から2045年ぐらいに団塊の世代からミレニアル世代への相続のピークが訪れると言われており、約3,300兆円、試算によっては4,000兆円程度が相続されると言われている。彼らの投資行動は、彼らの就職先の選択や給与に関する考え方と同様に、やはり社会的に価値のある企業に投資をしたい、環境に負荷をかけている企業には投資したくない、そのためにパフォーマンスが多少落ちても構わないという考え方に基づいている。

経済産業省「SDGs経営ガイド」より引用



EAP「従業員支援プログラム」 Employee Assistance Program

「誰一人取り残さない」というSDGs理念と、弊社のEAP事業の目指すところは共通する哲学や価値観があります。SDGs推進活動は、従業員が真に求める「快適職場づくりの実現」になり、従業員のやる気を喚起する「パーパス経営」の実践につながります。



ISOコンサルティングプログラム

SDGsという17項目と169のターゲットは、ISO14001 や ISO9001 の要求項目とリンクするものが多くあります。すでにISO認証取得をされている企業は、すぐにでもSDGsに取り組むことができます。また、これから認証取得をお考えの企業は、SDGsを推進することでISO認証取得に近づくことができます。



POINT SDGs経営が求められる理由

- ・SDGsが大きなビジネスチャンスになりうるため
- ・他の企業や個人とのコミュニケーションツールになるため
- ・ステークホルダーからの信頼を獲得するため
- ・優秀な人材を採用するため

まずはお気軽にご相談ください！ ssk-1pn@arrow.ocn.ne.jp